



議案32件、報告1件を審議

9月町議会定例会報告

9月6日から13日までを会期に開かれた令和元年第7回町議会定例会では、「条例の制定および一部改正」、「平成30年度歳入歳出決算の認定」、「令和元年度補正予算」など、議案32件および報告1件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項報告から

磐越自動車道・会津若松く安田間の4車線化優先整備区間の選定について

国土交通省では、9月4日に開催された社会資本整備審議会において、磐越自動車道・会津若松く安田間を4車線化優先整備区間に選定し、10年から15年での完成を目指すとしていました。

町ではこれまで東北横断自動車道（会津坂下く新潟間）促進期成同盟会や会津総合開発協議会などのさまざまな要望活動において、4車線化を強く求めてきたところです。

今後も引き続き、早期4車線化実現に向け、各種要望活動を通じ、関係機関に働きかけていきます。

第2期健康増進計画の策定について

町民の皆さんの健康増進の推進に関する基本的な方向性を定める健康増進計画が本年度で終期を迎えることから、これまでの取り組みを更に充実・強化し、健康寿命の延伸を図るため、令和2年度を初年度とする「第2期健康増進計画」を本年度に策定します。策定にあたっては、町民参加による検討組織として、7月に町民13人による町健康増

進計画策定検討会議を設け、策定作業を進めています。今後は、本町の健康づくりアドバイザーである長野県諏訪中央病院名誉院長の鎌田貴医師や家庭医療専門医の奥知久医師などから計画づくりの指導を受け、検討会議で出された意見などを計画案に反映し、年度内の計画策定に向けて取り組みます。

町内スポーツ施設を利用した交流人口の拡大について

夏休み期間中、さゆり公園やふれあい交流施設、ロータスインには、県内外から合宿や練習のために多くの利用者が訪れました。合宿については、神奈川県

のセントラルスポーツ・スイミングスクールや県水泳連盟をはじめ、岩手県立黒沢尻工業高等学校のボート部、また、東京都新宿区の日本空手道講道会壮勇館などの合宿を受け入れられました。

特に、日本空手道講道会壮勇館は下野尻出身で西会津応援大使である佐原勇さんが代

表を務めており、代表の取り計らいにより今年で2年目の来町となりました。今後もさゆり公園周辺施設のPRを図るとともに、町振興公社やにしいづ観光交流協会などの関係機関と連携し、交流人口拡大に向け、取り組みを推進していきます。

農林産物風評被害払拭事業について

町では、7月18・19日の両日、県外において、喜多方市・北塩原村・JA会津よつばと合同で会津産農林産物の風評払拭活動を行いました。初日は、渡辺博道復興大臣

を訪問し復興支援の継続を要望した後、千葉県市川市、船橋市、長印船橋青果株式会社を表敬訪問し、市川市役所では村越祐民市長に本年4月から市内の全公立小中学校の給食において3市町村産コシヒカリを使用していただいていることに対し御礼を申し上げるとともに、今後の交流の推進について意見交換を行いました。船橋市役所では松戸徹

市長に教育旅行等の拡充について要望を行いました。2日目は、市川市内のショッピングモールにおいて会津産農林産物の安全性や品質の良さをPRし、午後は神奈川県小田原市のスーパーマーケットにて、町単独のトップセールスとして、関係者と共にミネラル野菜等の販売活動を行いました。

また、8月1・2日には、会津十七市町村と、JA会津よつばと合同で、東京都の市場関係者や豊洲市場、イトーヨーカドー西新井店などを訪問し、トップセールスを行いました。

今後も引き続き、消費者や流通・販売関係者等との信頼関係を大切にしなが、積極的な風評払拭活動を行い、西会津産農林産物の安全・安心をPRしていきます。

野生マイタケの出荷制限解除について

福島第一原発事故の影響により国から出荷制限の指示が出されていた野生キノコのうち、マイタケの出荷制限が9月5日、解除されました。今後もこれら以外の野生キノコについて、県と協議しながら解除に向けた作業に取り組んでいきます。

と連携しながら、ICT教育の更なる向上と、プログラミング的思考力の育成に取り組んでいきます。

可決された議案

- ◆町森林環境譲与税金条例の制定 Ⅱ 森林環境譲与税交付に伴う基金の造成
- ◆町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正 Ⅱ 住民基本台帳法施行令等の一部改正に伴う条例の一部改正
- ◆町税条例の一部改正 Ⅱ 地方税法の一部改正に伴う条例の一部改正
- ◆町国民健康保険条例の一部改正 Ⅱ 国保制度改正に伴う条例の一部改正
- ◆平成30年度決算の認定
- ◆令和元年度一般会計補正予算（第4次） Ⅱ 普通地方交付税の決定や平成30年度繰越金確定に加え、幼児教育・保育無償化システムの改修費用や緊急に必要となった施設や設備の修繕費用など2億7030万4000円を増額
- ◆特別会計補正予算 Ⅱ 繰越金の確定に加え、事業実施に伴う所要の経費を計上
- ◆町特別功労表彰者の決定への同意 Ⅱ 荒海清隆さん（小網木）、伊藤正市さん（呼賀）、目黒一さん（牛尾）、宮澤悟さん（小網木）、石川正男さん（白坂）
- ◆小杉山地区地すべり対策応急工事請負契約の締結
- ◆町若者向け住宅整備工事請負契約の締結
- ◆映像機器高度化更新工事請負契約の締結
- ◆財産の取得 Ⅱ ケーブルテレビデータ放送システム及びケーブルテレビ加入者管理システムの更新
- ◆教育委員会委員の任命への同意 Ⅱ 齋藤彰子さん（1町内）の任命に同意



町政懇談会を開催しませんか

町では、町民の皆さんと行政が一体となった協働によるまちづくりを推進するとともに、地域が抱えるさまざまな課題を把握し、実効性の高い事業を企画立案することなど目的に、町政懇談会を開催しています。

開催を希望する場合は下記まで問い合わせください。

◆開催の単位

基本的に自治区を開催単位とし、集会所等で開催していますが、複数の自治区が合同で開催することもできます。また、各種団体等が開催することも可能です。

◆開催日時

希望する日時を連絡ください。日程調整の上、

開催日時を決定します。

◆参加者

懇談会にはどなたでも参加できます。町からは、町長をはじめ、地域課題などに関係する課長が出席します。

<問い合わせ先>

企画情報課 情報政策係 ☎ 45-4536





『活気ある、ずっと住みたい町』目指す 西会津地域活性化協議会が活動計画を審議・決定

町では、ICTを使い定住条件の強化に取り組むため、農林水産省の補助事業・農山漁村振興交付金事業を活用すべく同省に事業提案を行っていたところ、このほど、全国13カ所のモデル地区の1つに採択されました。

このため、事業主体として、町が中心となり、町と関係団体等が連携した組織である「西会津地域活性化協議会」を設立しました。同協議会では今年度から3年間、ICTを使い、埼玉県戸田市との教育連携による児童の学習支援をはじめ、イノシシ被害対策、高齢者等の見守りサービス、農林産物等集荷及び買い物支援、さらに町民の皆さんの健康づくりの5つのプロジェクトの実証事業などに取り組んでいく計画です。

8月5日に開催された同協議会の総会では、3年間の取り組み、年次計画などを定める西会津地域活動計画について審議し、原案のとおり決定しました。

同協議会では今後、活動計画に基づき、関係団体等と連携を図り、公立大学法人会津大学から助言等を受けながら取り組みを進めていきます。

西会津地域活性化協議会を構成する会員は次のとおりで、事務局は町企画情報課が担当します。

西会津地域活性化協議会構成会員＝西会津町、西会津町教育委員会、西会津小中学校長会、西会津町有害鳥獣対策協議会、西会津町猟友会、西会津町消防団、にしあいづ健康ミネラル野菜普及会、にしあいづ農林産物加工ネットワーク、株式会社西会津町振興公社、西会津町商工会、西会津工業会



活動計画を審議・決定した西会津地域活性化協議会総会

文科省の専門官を招き 児童生徒一人ひとりの学力向上に向けた新しい取り組み 小中学力調査の結果分析・活用を考える研修会を開催

県内の小学4年生と中学2年生を対象に本年度初めて実施された「ふくしま学力調査」の結果分析とデータ活用を考える研修会が8月23日、西中多目的ホールで開かれ、県内小中学校の校長や教員、教育関係者ら約130名が参加しました。

町では、ふくしま学力調査と同様の「埼玉県版学力・学習状況調査」を昨年度から先行して実施しており、児童生徒一人ひとりの学力の変化などの分析が可能となったことから、埼玉県の学力調査の導入に携わり、推進アドバイザーである文部科学省高等教育局専門教育課専門官大根田頼尚氏を講師に招き、本研修会を開催しました。

研修会では、大根田氏がふくしま学力調査の概要や調査結果の活用方法などについて講演し、先進である埼玉県の学力調査の分析結果を基に良い学級経営が学力を伸ばしているとのデータや、自制心、勤勉性、やり抜く力などいわゆる「非認知能力」を高めることが学力の維持向上につながることを紹介しました。講演後には西会津小・中学校の分析結果の説明なども行われ、参加者からは有意義で先進的な研修だったとの感想が聞かれました。



調査結果の分析と活用について話す大根田氏



10月24日(木)から
体育館展示がプレオープン!

10月26日(土)

- 9:00～ オープニングセレモニー
- 10:00～ 民俗芸能と民謡の集い
- 11:30～ OKOME音楽祭

10月27日(日)

- 9:00～ 福島レッドホープス野球教室 **参加者募集!!**
- 9:30～ にしあいづ紅葉ウォーク **参加者募集!!**
(共催：第12回いきいき健康ウォーク in 西会津)
- 10:00～ 丞神デナー SHOW!! **参加者募集!!**
- 11:00～ 第21回桐ゲタ投げ全国大会
- 13:00～ 丞神デナー SHOW!!
- 13:30～ 福島レッドホープス ファン感謝祭
- 14:30～ 西会津ふるさと大抽選会

両日開催

- 10:00～ テントサウナ体験 (予定)
- 10:00～ N-トレジャーハント
- 10:00～ 西会津ソウルフード!
パケツ肉まつり
- 10:00～ 農家レストラン (米フェス)
- 10:00～ キッズパーク (ふわふわ、ミニSL)
- 10:00～ 至福のスイーツマウンテン
- 10:00～ ごはん食堂 (米フェス)

※詳細は配布されるチラシをご覧ください。

<問い合わせ先>

町ふるさと振興推進委員会事務局
(商工観光課)
☎ 45-2213 FAX 45-2241

第34回を数える秋の恒例イベント「西会津ふるさとまつり」が10月26日、27日に開催されます。

恒例の「桐ゲタ投げ全国大会」、「にしあいづ紅葉ウォーク」のほか、町のおいしい米の魅力を発信する「西会津ーうまい米コンテスト」や「ごはん食堂」、また、福島ゆかりのアーティストによる「OKOME音楽祭」、さらには、謎解きしながら会場内で宝探

しをする「N-トレジャーハント」や「テントサウナ体験」など、楽しいイベントが盛りだくさんです。

また、ミネラル野菜をはじめとした町内産の農林産物や加工品の販売に加え、西会津の秋の味覚が味わえる「農家レストラン」、さらには町内外からさまざまなグルメが出店コーナーに軒を連ねます。西会津ふるさとまつりにぜひご来場ください。

OKOME音楽祭 ▶▶▶▶▶

県内ゆかりのアーティストが出演予定!
詳細は町ホームページでチェック!



西会津の秋の「楽しい」がぎゅっと詰まった2日間
10月26日、27日は「西会津ふるさとまつり」



ボランティア団体の皆さんが受賞を薄町長に報告 「西会津語りの会」に県知事感謝状

8月3日に行われた「第22回ふくしまボランティアフェスティバル」で表彰を受けたボランティア団体の皆さんが8月20日、町役場を訪れ、受賞の報告をしました。

県知事感謝状の表彰を受けた「西会津語りの会」会長の細野シズエさんが「皆さんの協力や理解があつての受賞です。感謝しています」と薄町長へ受賞を報告し、町長は「皆さんの長年にわたる活動が認められての受賞だと思います。今後ますますのご活躍を期待しています。おめでとうございます」と受賞を祝福しました。

◎県知事感謝状（団体）＝西会津語りの会 ◎県社会福祉協議会会長表彰（団体）＝西会津高等学校、読み聞かせボランティアグループももたろう ◎県社会福祉協議会会長表彰（個人）＝渡部雅二郎さん ◎県社会福祉協議会会長感謝状（団体）＝西会津町赤十字奉仕団



受賞を報告したボランティア団体の皆さん

町の魅力や情報を広く発信 8人目の応援大使に 佐藤悟さんへ「西会津応援大使」を委嘱

町では、群岡・白坂出身で、現在仙台市でエスオーインターナショナル株式会社の代表取締役を務める佐藤悟^{さとる}さんを西会津応援大使へ委嘱し、8月7日、町長室において委嘱状交付式を行いました。

町では、町の豊かな自然や歴史、観光などの情報を広く発信し、町のイメージ向上と観光の活性化を図ることを目的に、町にゆかりのある町外在住者を西会津応援大使に委嘱しています。



委嘱状を受け取る佐藤悟さん（写真右）

皆さんの貴重な提案をお待ちしています まちづくり提案制度「町長へのおたより」受付中

町では現在、町民の皆さんとの対話を重視し、町政運営を進めています。皆さんとの対話のひとつの方法として、まちづくり提案制度「町長へのおたより」を下記のとおり実施しています。

◆「町長へのおたより」の出し方

◎提案用送信フォームから＝町ホームページの送信フォームから、下記の必要事項を全て入力し、送信してください。

◎提案用送信フォーム以外から＝下記の必要事項を記入の上、郵送またはファクス、電子メール（teian@town.nishiaizu.fukushima.jp）でお送りください。

◆必要事項＝①住所、②氏名、③性別、④年齢、⑤電話番号、⑥回答希望の有無

◆提案内容の公表 提案の概要は、町ホームページや町広報紙で公表します。公表の際は性別と年代のみを表示します。

※注意事項 従来行っていた、町役場本庁舎、奥川みらい交流館、新郷連絡所、町公民館、西会津中学校図書館における提案箱での受け付けは、現在行っていません。

<問い合わせ先>

企画情報課 情報政策係 ☎ 45-4536

給食を通し 交流と理解を深める 小中学校の給食に 市川市特産の梨

9月4日、小中学校の給食に千葉県市川市の梨が提供され、児童生徒らが旬を迎えた「豊水」を味わいました。

町と相互交流協定を結んでいる市川市では、今年4月より市内の公立小中学校の給食に西会津町・喜多方市・北塩原村で収穫された米が提供されており、今回、給食を通じ、交流と相互理解を深めることを目的に市より梨が提供されました。

千葉県は梨の収穫量、産出額、栽培面積ともに全国一で、香り豊かで甘くみずみずしい市川市の「豊水」は地域ブランドにもなっています。

梨を食べた児童からは、「甘い!」「シャキシャキして美味しい!」などの声上がり、笑顔で梨を頬張っていました。



約40年にわたり国道49号線の道路環境美化に尽力 西会津ライオンズクラブが国土交通大臣表彰を受賞

このたび、西会津ライオンズクラブが道路愛護団体として国土交通省より表彰を受け、9月2日、伊勢亀彰会長らが町長室を訪れ、薄町長と工藤副町長に受賞の報告を行いました。

西会津ライオンズクラブは昭和53年より約40年にわたり、野沢地内の国道49号線沿いの花壇の手入れを行っており、今回、長年にわたる道路環境の美化活動が認められ、国土交通省の「道路ふれあい月間」に合わせ、国土交通大臣表彰を受賞しました。

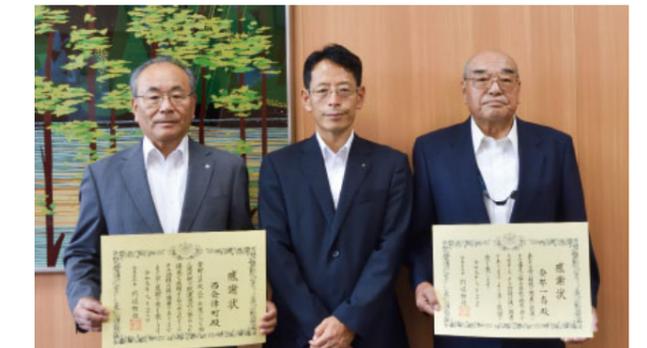


受賞の報告を行った伊勢亀彰会長（写真中央）、伊藤要一郎さん（写真右より2人目）、新井田大さん（写真右）

町も個人県民税優良町知事感謝状を受賞 安部さんが納税功労者知事感謝状を受賞

8月22日、令和元年度納税功労者及び個人県民税優良町の知事感謝状伝達式が町長室で行われました。

式では、平成16年度より樟山納税貯蓄組合長として地域組合員の納税意識の高揚に努め、現在は西会津町納税貯蓄組合連合会長も務める安部一壽^{いちじゅう}さんが納税功労者として知事感謝状の贈呈を受け、続いて、平成30年度の個人県民税の徴収率が前年度を上回ったことを受け、薄町長が個人県民税優良町として知事感謝状の贈呈を受けました。



知事感謝状を受賞した安部さん（写真右）と薄町長



8月20日開会

町議会臨時会報告 議案1件を審議・可決

8月20日に臨時会が開かれ、次の議案1件が原案のとおり可決されました。

◆令和元年度町一般会計補正予算(第3次) = 小杉山地区地すべり対策事業費5000万円を増額し、

予算総額を61億7226万2000円に補正。なお、増額する事業費は地すべりを抑止するための経費を追加するもの。財源は全額地方債を充当。

お気軽に相談ください

秋の行政相談・人権相談を行います

10月7日～13日は「行政相談週間」です。町では、特設行政相談所を開設し、役所や特殊法人などの仕事に対する苦情、意見や要望を受け付け、解決のお手伝いをします。

また、併せて特設人権相談所を開設し、人権問題に関する相談などに応じます。相談は無料で秘密は堅く守られます。この機会にご相談ください。

◆行政相談委員 田崎宗作さん(小杉山)

◆人権擁護委員 長谷川孝志さん(森野)、嶋田純子さん(下野尻)、長谷川成博さん(梨平)



◎ 10月16日(水)

午前9時30分～正午 新郷連絡所

午後1時～3時30分 奥川みらい交流館

◎ 10月17日(木)

午前9時30分～正午 保健センター

午後1時～3時30分 町公民館

<問い合わせ先>

総務課 行政管理係(行政相談) ☎ 45-2211

町民税務課 町民生活係(人権相談) ☎ 45-2215

町長コラム

その | |



ようやく、磐越自動車道(会津若松～安田間)の4車線化が決定された。これまで前々町長時代から長い間、4車線化実現のために、会津坂下～新潟間の期成同盟会や会津総合開発協議会などで、機会あるごとに国・県等に要望活動を行ってきた。その結果が実を結んだもので、この上ない喜びである。これによって、町の産業経済の振興や交流人口の拡大など、課題となっている地方創生に向けて、大きな推進力になると思う。

今回、沿線市町村の思いが届き、4車線化優先整備区間に選定されたが、完成までには10～15年の期間を要するとのことであるので、安心することなく、引き続き早期完成に向けて、さらに要望活動を展開していくこととする。

町の発展に道路網の整備は基本であると考えている。町内には、国道400号、459号、県道は主要地方道を含めて9路線が走っており、その整備状況はあまり進んでいない。これらの道路整備を早急に実現するため、各々期成同盟会が結成されているので、関係機関に対し強力に要望してまいりたい。

新西会津町総合計画の目指す将来像である「笑顔つながり 夢ふくらむまち ～ずーっと、西会津～」の実現に向けて、各種施策を着実に実行するため、町民・議会・行政が一体となって、力を合わせて頑張っていきたい。

西会津町長 薄友喜